

令和3年度 南アルプス市立若草小学校 学校評価 前期学校関係者評価書

令和3年9月10日（金）
学校関係者評価委員会作成

【第3回学校関係者評価委員会】

（紙上提案とする会議）

- 1 実施日 令和3年9月10日（金）午後7時より
- 2 会場 若草小学校校長室
- 3 参加者 学校関係者評価委員 齊藤三四郎（鏡中条上村区自治会長／学校評議員）
北村 敏（スクールガードリーダー／学校評議員）
上野恵美子（主任児童委員／学校評議員）
須田 洋平（PTA会長／学校評議員）
中込 紘子（PTA副会長／学校評議員）
教職員 名取 和仁（校長） 石川 明子（教頭）
富士池慎一（教頭） 米山 隆男（主幹教諭）
- 4 学校側からの提案内容
 - ①前期 児童アンケートの結果説明と考察
 - ②前期 保護者アンケートの結果説明と考察
 - ③前期 教職員自己評価の結果説明と考察
 - ④意見交換
 - ⑤今後の予定について
- 5 学校関係者評価委員による意見（評価・感想・要望）
 - （1）評価の全体的な概略について
 - ・教職員，保護者，児童において昨年とほぼ同様に評価が「A判定」であることはとても良いと思います。
 - ・コロナ禍において教職員・保護者・児童の皆様，それぞれが努力し，頑張っている姿がうかがわれます。
 - ・GoogleFormsを用いた回答のため，親としては回答がしやすかった。反面，期日を忘れてしまい，メ切ギリギリになってしまった。保護者の回収率を上げる努力が必要であると感じました。
 - ・コロナ禍で思ったように遊んだり，学んだりできない状況が続きます。こんな時期ですが，こんな時期だからこそ，未来を担う世代への願いと支えるべき社会の責任について考えたいと思います。

(2) 分類毎による項目の評価と改善策について

I 学校生活について

- ・継続していくことはとても大切です。
- ・言葉だけでいうのではなく、まずは私たち大人が模範を示すことが大事ですね。
- ・コロナ禍ということもあり「あいさつ」がとても難しくなっていると思う。マスクをしていると、小さな声だと聞き取りにくいし、大きな声を出して話すとつばが飛ぶ。取り組み方が難しいと思う。
- ・「学校が楽しい」と肯定的に感じている児童の割合がほぼ9割なのは良好な学校生活が送られている状況がうかがわれます。これからも一人一人に適切な声掛けを行い楽しく学校生活を送れるようお願いします。

II 学習指導・III 家庭学習について

- ・パソコンを使った学習，小中一貫教育に向けての学習等，先生方の創意工夫がうかがえます。家庭学習は，「親も共に」。
- ・タブレット学習が家庭でもできるように，早めに対応してほしい。
- ・全国学力・学習状況調査の識者談話で早稲田大学の田中教授は，「保護者が子供の様子をしっかり見ながら，学習習慣と規則正しい生活を身に付けられるよう導いてほしい」と話しています。

IV 生徒指導について

- ・家庭と学校の連携がとても大事ですね。
- ・子どもの相談に丁寧に対応しているかについて，11%の否定的保護者がいるのは，学校の対応に不満を持っているのではないかと思う。子供の相談に紳士的に対応しているのかわかるように，親への説明が必要かと思う。
- ・ほぼ9割の子が「周りの人にやさしく親切にしている」と答えている。柔軟な感性を持つ若きこそ社会と家庭を思いやりの場所に引っ張っていけるとおもわれます。

V 学校経営・VI 研究研修について

- ・先生方の負担にならない様，日々研究・研修を重ねていただきたいと思います。

VII 学校行事について

- ・児童の皆さんの評価項目が高いのは先生方のきめ細かい配慮と努力があつてこそです。
- ・クラスターになるのも怖い。密にならないように，学校行事が行われることを願うだけです。
- ・コロナ禍であっても感染症対策を十分確保し，学校行事等，実施してください。

VIII 施設設備・安全管理について

- ・安心・安全な教育現場であつてほしいです。
- ・いよいよ若草小改築事業が始まるようで期待しています。

- ・老朽化による、校舎・体育館はどうにもならないことでもある。可能な限り、様子や経過を保護者に伝え、安心の見通しが持てる努力が必要。
- ・市教委，教育総務課より「市立若草小学校改築事業について」の資料が届いています。連携して取り組んでいければと考えます。

IX 家庭・地域との連携について

- ・学校より発信してくださる情報等とても有難く思います。
- ・地域に住む私たちに何ができるのか考えていきたいと思えます。
- ・コロナ禍による生活や仕事の変化によるストレス，感染する・させるという不安，経済面の不安などから，心に余裕のない状態になっている大人が増えています。「繋がることで強くなる」という強いメッセージで乗り越えてほしいです。

携帯電話について

- ・家庭内のルール作りが最も重要であると共に学校での指導も必要であると思えます。
- ・5，6年生に，使い方の注意点を授業を通し，より伝えていくのが大事かなと思えます。